

健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発等事業

令和3年度概算要求額 0.7億円（0.7億円）

商務・サービスグループ
医療・福祉機器産業室
03-3501-1562

事業の内容

事業目的・概要

- CSTI（総合科学技術・イノベーション会議）が進めているムーンショット型研究開発制度の下、有識者によるビジョナリー会議において、目指すべき未来像と目標例についての提言がとりまとめられたところ、健康・医療分野の必要性が指摘されました。
- 健康・医療戦略推進本部のもと、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の3省が協力して、健康・医療分野のムーンショット型の研究開発事業を行います。

成果目標

- 人生100年を前提として、いつまでも明るく健康であり続けることができる社会の実現を目指し、国民の多様な健康・医療ニーズに即した新たなソリューションを生み出し、世界の健康・医療にも貢献するための研究開発を令和2年度から中長期的に支援します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

補助
(事務費として)

国

日本医療研究
開発機構

委託

民間事業者等

事業のイメージ

①日常生活の中で自然と予防ができる社会の実現



研究開発の例

全ての生体トレンドを低負荷で把握・管理できる技術

免疫システムや睡眠の制御等により健康を維持し疾患の発症・重症化を予防するための技術

日常生活の場面で個人の心身の状態を可視化・予測し、各人に最適な健康維持の行動を自発的に促す技術

②世界中のどこにいても必要な医療にアクセス出来るメディカルネットワークの実現



研究開発の例

小型・迅速・高感度な診断・治療機器や、医師の医学的所見・診断能力をさらに引き上げる技術

簡便な検査や治療を家庭等で行うための診断・治療機器や、一部の慢性疾患の診断・治療をフリーにする技術

データサイエンスや評価系の構築等により、医薬品・医療機器等の開発期間を大幅に短縮し、がんや認知症といった疾患の抜本的な治療法や早期介入手法を開発

③負荷を感じずにQoLの劇的な改善を実現



研究開発の例

負荷を低減したりリハビリ等で身体機能の改善や在宅での自立的生活をサポートする技術

不調となった生体制御システムを正常化する技術

機能が衰えた臓器を再生・代替する技術